

▼オーラップ錠 [内] <2021.3 販売中止>

【重要度】 【一般製剤名】ピモジド (U) pimozone 【分類】抗精神病薬

【単位】▼1mg・▼3mg/錠

【常用量】初期量1~3mg/日, 症状に応じ4~6mg/日に漸増 [通常6mg以下で維持し, 最大9mg/日]

【用法】1日2~3回 [1日1回の場合は朝が望ましい]

【透析患者への投与方法】PKの特徴からは減量の必要なし (5)

【その他の報告】設定されていない (1)

【保存期CKD患者への投与方法】PKの特徴からは減量の必要なし (5)

【その他の報告】心電図異常を起こすおそれがあり慎重投与 (1)

【特徴】神経遮断剤で, それほど高度でない無関心・無為・自閉・感情鈍麻などに効果がある. 作用発現は比較的緩徐であり, かつ作用持続時間が長い. AUCはCYP2D6酵素多型の影響を受ける.

【主な副作用・毒性】心室頻拍, 突然死, 悪性症候群, 痙攣, 低Na血症, 顆粒球減少, 血栓症, パーキンソン症候群, アカシジア, ジスキネジア, 眠気, 不穏, 低血圧, 肝障害, 血中プロラクチン上昇, 消化器症状, 顔面浮腫など

【安全性に関する情報】QT延長に注意 (1) 自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させない (1)

【F】約50% (U) 資料なし (1)

【tmax】6~8hr (U) 8hr (1)

【代謝】CYP3A4, 2D6で代謝 (U) N-脱アルキル化体には活性なし (U) CYP1A2が関与している可能性もある (1) AUCはCYP2D6のPMでEMの3.7倍 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率0.12% [po, 72hrまで] (1) 尿中に主に代謝物として40~50%が回収 (U) 【CL/F】32.7mL/hr [po] (1)

【t1/2】単回投与29±10hr [健康人] (U) 患者ではさらに長い (U) 23~53hr (1) CYP2D6のEM31hr, PM61hr (1)

【蛋白結合率】資料なし (1)

【Vd/F】1071L/man [po] (1)

【MW】461.55

【透析性】資料なし (1)

【O/W係数】資料なし (1) 【TDMのポイント】CYP2D6の多型による個別投与設計が有用な可能性 (Rogers HL, et al: J Clin Psychiatry 73: 1187-90, 2012)

【相互作用】SSRI, アジスロマイシンが消失を障害するので併用を避ける (Desta Z, et al: J Clin Psychopharmacol 22: 162-8, 2002) CYP3A4阻害剤, SSRIとの併用禁忌 (1) QT延長を起こす薬剤との併用禁忌 (1)

【更新日】20210330

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません. 本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果,

直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院でいかなる責任も負わないものとします. 最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください.

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます. すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています.